

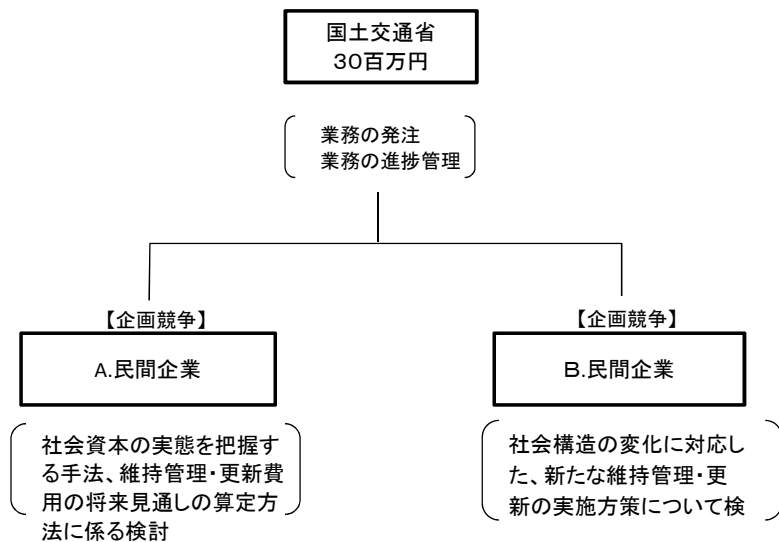
平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	社会資本の適確な維持管理・更新に係る施設横断的な検討		担当部局庁	総合政策局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H25/H27(予定)		担当課室	公共事業企画調整課	事業総括調整官 勢田 昌功		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について(中間答申) (社会資本整備審議会・交通政策審議会、平成25年5月30日)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国においては高度経済成長時代に集中投資した社会資本の老朽化の進行が見込まれている。厳しい財政状況の中で社会資本の計画的な長寿命化・老朽化対策を進めるためには、各管理者において社会資本の実態を踏まえ、将来の維持管理・更新費用を把握する等、適確な維持管理・更新を実施する必要がある。そこで、既存施設の実態把握手法、維持管理・更新費用の将来見通しの算定方法構築について検討するとともに、社会構造の変化に対応した新たな維持管理・更新手法の構築について検討することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	地方公共団体においても社会資本の適確な維持管理・更新が行えるよう、比較的簡便な調査により得られるデータから、分野横断的に主な社会資本の実態を把握する手法を検討するとともに、施設の実態も踏まえた、より実態に即した効率的な維持管理・更新費用の将来見通しの算定方法について検討する。また、人口減少をはじめとする社会構造の変化に対応できるよう、適切なサービス水準の維持を図りながら費用を縮減する新たな維持管理・更新の実施方策について検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	30	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	30	
	執行額	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果目標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、既存施設の実態把握手法、維持管理・更新費用の将来見通しの算定方法等について検討するものであり、成果目標及び成果実績を明示的に示すことは困難な性質のものである。			成果実績			
			達成度	%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	社会資本の適確な維持管理・更新に資する実態把握や将来見通しの算定方法、社会構造の変化に対応した維持管理・更新手法の検討			活動実績(当初見込み)			
				件	()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.8百万円					
	職員旅費	0.4百万円					
	委員等旅費	0.4百万円					
	社会資本整備・管理効率化推進費	28百万円					
	計	30百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当該事業は社会資本の適確な維持管理・更新が行えるよう、分野横断的な社会資本の実態把握の手法、維持管理・更新費用の将来見通しの算定方法に係る検討を実施するものであり、国が主体的・先進的に検討を進める必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○参議院決算委員会(平成23年12月7日)の平成21年度決算審査措置要求決議において、社会資本の長寿命化・老朽化等の促進について、「政府は、国直轄の社会資本についてはもとより、地方公共団体等が管轄する社会資本についても資金、技術、人材等の支援を行うなどして、長寿命化・老朽化対策を早急かつ効率的に行い、社会資本の維持管理・更新費の縮減に努めるべきである。」と決議されたところである。</p> <p>○社会資本整備重点計画(平成24年8月31日閣議決定)において、計画期間中の重点目標の一つに「社会資本の適確な維持管理・更新を行う」ことが位置付けられている。</p> <p>○日本経済再生に向けた緊急経済対策(平成25年1月11日閣議決定)において、「今後の老朽化に備えた社会資本の計画的かつ戦略的な維持管理・更新を推進する」と記載されている。</p> <p>○今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について(中間答申)(平成25年5月30日)において、「全ての施設の健全性等を着実に把握するための体制整備等を進めるとともに、健全性等を正しく把握するための、基準等の整備・見直しを推進すべき」と提言されている。</p> <p>このため、社会資本の適確な維持管理・更新が行えるよう、分野横断的な社会資本の実態把握の手法、維持管理・更新費用の将来見通しの算定方法に係る検討を実施するにあたり、国として積極的に関与する必要がある。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※現在、業務の発注に向けた手続きを実施中



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					